

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	工学基礎演習第二		
英文授業科目名	Engineering Fundamentals II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	野崎 眞次		
居室	西3-506		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nozaki@ee.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>(a) 主題：電磁気学、電気・電子回路など電子工学を学ぶ上では、大切な道具である種々の数学的テクニックを使えることが重要である。内容的に高等学校の数学と重複するところもあるが、特に電子工学に関係した例題や問題を多く取り扱い、道具としての基礎トレーニングを行う。</p> <p>(b) 達成目標：本講義では、工学基礎演習第一と連携して、電子工学を学ぶために是非とも必要と思われる基本的な数学を使えるようにする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
工学基礎演習第一

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
微分積分学第一

<b>【教科書等】</b>
教科書：森武明、大矢征著「電気電子工学のための基礎数学」森北出版

【授業内容とその進め方】

【授業内容】

- ・数列とその極限
- ・関数の極限
- ・微分計算法
- ・微分の応用
- ・偏微分とその応用
- ・積分計算法
- ・積分の応用
- ・微分方程式

【授業の進め方】

2回のクイズ、2回の試験を行うが、クイズは、それぞれ中間試験、期末試験の前に行い、その内容を理解すれば60点はとれる試験を作成する。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

講義前に教科書の講義で説明される箇所を読み、練習問題がある場合は、自分で解いてみて、わからない点などを明確にしておく。講義後は、講義で説明された練習問題は必ず自分で解いてみる。予習、復習、講義でわからない点があったら、講義の後、またはメールで積極的に質問する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)成績評価

試験（中間、期末）80%。クイズ2回20%。総合点60%以上を合格。

(b)評価基準

総合点60点以上ならば専門科目で必要となる関数、微積分が理解できる。

【オフィスアワー：授業相談】

電子メールでのまえもつての予約を要する。講義後は質問を随時受ける。

【学生へのメッセージ】

電子工学の専門を理解する基礎科目です。講義の後十分復習をして、講義で扱った問題が自分で解けるようにしてください。クイズの位問題はすべて試験前に解けるように復習を十分してください。

【その他】